次田経雄さんによる奥穂高岳登山講演　6/7(木)1.2 校時

７月２３日（月）～２５日（水）の登山の講演がありました。保護者の方の参加も多く、最後の質問の時間は予定時間をオーバーしても熱心な質問されている姿がありました。この会を例年より早めに計画しましたので準備等を宜しくお願いします。

リュックのカバー　リュックの中がぬれないように持参 → 傘の古い物で製作可能

脱水症状防止　水も良いが、汗で塩分が不足するのでｽﾎﾟｰﾂﾄﾞﾘﾝｸも１本欲しい。

暖かい飲み物　金属製の水筒があればここに入れることができる。

帽子は２種　日差しの強いところでは白の帽子、ご来光を見るときは毛糸がよい。

スウェット　軽くて、暖かい、小さくなるので山に持って行くには理想的である。

合羽　上下を別の袋に入れる。ゴアテックスは良いが高価。透明な物は岩で裂ける。

登山靴　ぬれた岩で滑りにくい底材料。トレッキング用でも夏山は良い。

リュック　30 リットルが良い。小さい物に詰め込むのはだめ。すぐ出せること。

最後に質問　保護者の皆さんは、講演後も次田さんに質問をしていました。

～ 次田経雄さんの紹介 ～

① プロアルパインガイド　国内第１号

② 文部大臣認定Ａ級職業スキー教師　　スキー指導総日数・・・・・・・・・・・・・・・・ 46 年 4497 日

登山＆SKI ガイド日数 ・・・・・・・・・・・・ 42 年 2632 日

③ 累計登降標高差 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3,187,500 m　　（2010 年１２月 31 日現在）

1964 年～1975 年　北穂高小屋勤務。ボッカ遭難救助隊員を経て、1969 年我国におけるプロアルパインガイド第 １号となり、登山ガイド＆山岳スキージャンルのパイオニア的存在となる。登山・山岳スキーの技術･知識ルート解説多数。

乗鞍高原在住 ｵﾌﾋﾟｽﾃ＆山岳ｽｷｰの難問、疑問に ﾒｰﾙ＆電話でお受けします。